

## 仕事と生活の調和が実現した社会の姿とは…

国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会。具体的には、

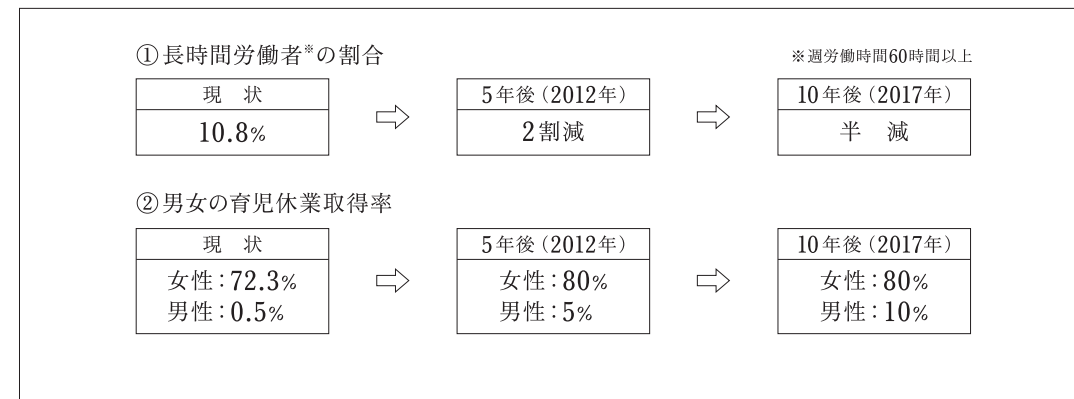
- ①就労による経済的自立が可能な社会
- ②健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- ③多様な働き方・生き方が選択できる社会

を目指すべきだとされています。

～「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」より～

なお、仕事と生活の調和した社会の実現に向けた企業、働く者、国民、国及び地方公共団体の取組を推進するための社会全体の目標として、一定の項目について数値目標が設定されています。

例えば、



～「仕事と生活の調和推進のための行動指針」より～

厚生労働省では、これら憲章及び行動指針を踏まえて、労働時間等見直しガイドラインを改正しました。

詳しくはこちらへ



# 仕事と生活の調和 推進プロジェクト

# 1



仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）  
実現のために

# いい仕事しよう。いい人生しよう。

社長も本気で取り組みます。「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」。

あなたは最近、働くために生きていませんか。今、日本では「仕事に追われ疲れている」「仕事と子育てや家族の介護との両立に悩んでいる」「仕事が忙しくて地域活動に参加する時間がない」など、仕事と生活の間で悩みを抱える人が多く、社会全体が“アンバランス”な状態です。厚生労働省ではこの状況を改善するべく、“仕事と生活の調和”を推進するプロジェクトを始動。まずは10社の協力を得て、経営トップ自らが、今年の主な取組内容などを発表しました。日本の働き方、生き方を変える挑戦が、ここから始まります。仕事をするのが、その日その日の生きがいにつながる。仕事以外の時間も充実させることが、明日への活力になる。その調和が、家族とあなた自身の幸せにつながる。そんな“仕事と生活の調和”、一緒に考えてゆきませんか。



このプロジェクトの詳細はこちらへ

[仕事と生活の調和推進プロジェクト](#)

検索